



夢・いっぱい

第6号

令和2年8月25日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
 ～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

仲間とともに充実した2学期を！

～ 様々な行事や体験活動をとおして、相手を思いやる集団へ ～

校長 原田 剛

例年にも増して暑い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。始業式では、新型コロナウイルス感染症防止のために、子どもたちにこまめな手洗いや体調管理に継続して取り組むよう話をしました。学校においても、引き続き、子どもが触れる場所(手すりなど)を消毒し、感染防止に努めてまいります。毎朝の検温ではお手数をおかけしますが、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、2学期は社会見学や運動会等、様々な行事が予定されており、友だちと一緒に計画を立てたり協力して実施したりする活動が多くなります。友だちの気持ちを考え協力して取り組むことで、すてきな思い出をつくってほしいというお話もしています。思いやりのある学級集団、学年集団、そして学校へと成長してほしいものです。

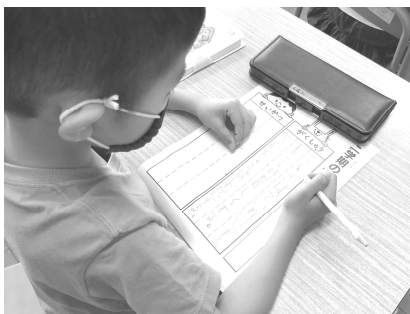
始業式の後は、森川生徒指導主任からあいさつの話がありました。

その話の中で、小中一貫教育の取組の一つとして川下中学校で既に実施されている、「語先後礼(ごせんごれい)」の取組を小学校にも広げることが伝えました。「語先後礼」とは、「おはようございます」「お願いします」などのあいさつの言葉を先に発し、その後でおじぎをするというあいさつの仕方です。1～4年生までは、まずは、元気なあいさつをすること、そして、5・6年生で「語先後礼」が定着するよう声をかけていきます。

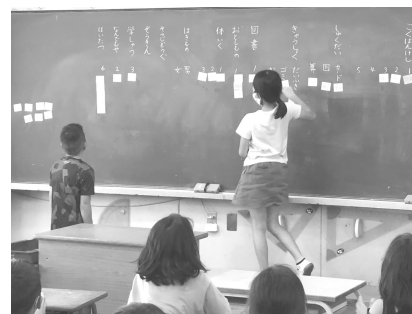
これまでの暑さを吹き飛ばし、充実した2学期となるよう教職員一同取り組んでまいります。以下の写真は、始業式当日の各学年の様子です。当たり前前(あたりまえ)のことが当たり前前(あたりまえ)にできることを大切に、日々の教育活動に取り組んでまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



森川生徒指導主任の話



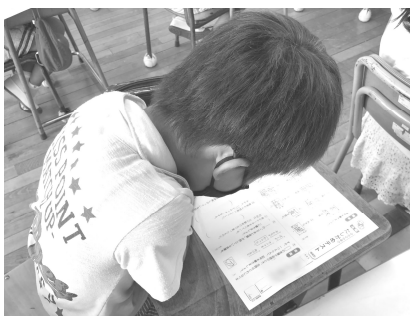
2学期のめあてを書く1年生



係活動の役割を決める2年生



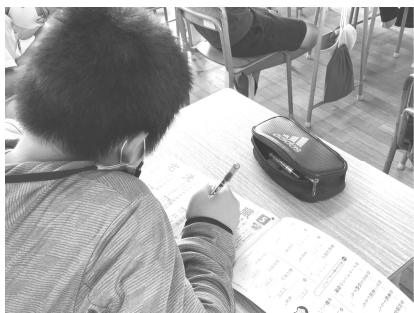
新しいドリルにいてねいに名前を書く3年生



夏休み明けの確認テストに取り組む4年生



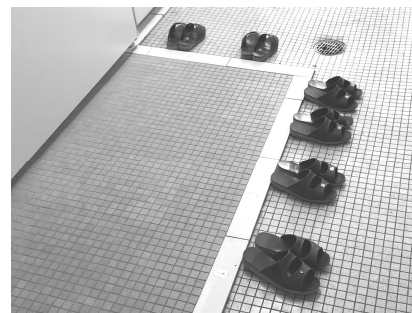
「3・2・1運動」が完璧にできる5年生



新しいドリルに真剣に取り組む6年生



2学期の目標を話し合うさくら学級



きちんとそろった3階トイレのスリッパ(毎日、このようになるといいですね。)